

微量 PCB 汚染物の焼却実証試験の実施結果 環境省



環境省は、平成 21 年 11 月～平成 22 年 1 月に行った微量 PCB 汚染物の焼却実証試験の結果を公表しました。

現在、PCB を含有していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むもの（以下、微量 PCB 混入廃電機器等）が大量に存在することが判明しており、これらの処理体制の整備が課題となっています。

環境省はその整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量の PCB を含む廃棄物が安全かつ確実に処理できることを確認するため、関連自治体の協力を得て焼却実証試験を実施しています。環境省は、今後も協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

〈平成21年11月～平成22年1月に行った実証試験の結果〉

施設名	株式会社ミダックふじみ宮(静岡県富士宮市)	株式会社カツタ(茨城県ひたちなか市)	株式会社富山環境整備(富山県富山市)	株式会社クレハ環境(福島県いわき市)	光和精鉱株式会社戸畑製造所(福岡県北九州市)
試験期間	平成21年11月18日～20日	平成21年11月25日～27日	平成21年12月1日～3日	平成21年12月23日～25日	平成22年1月13日～15日
排ガス濃度(PCB)	○	○	○	○	○
排ガス濃度(ダイオキシン類)	○	* 2	○	○	○
敷地境界大気中濃度(PCB)	○	○	○	○	○
敷地境界大気中濃度(ダイオキシン類)	* 1	○	○	○	○
施設周辺大気中濃度(PCB)	○	○	○	○	○
施設周辺大気中濃度(ダイオキシン類)	○	○	○	○	○
処理後の残渣物濃度(PCB)	-	-	-	-	○
処理後の残渣物濃度(ダイオキシン類)	-	-	-	-	* 3

○: 基準値未滿

* 1: 1日目に基準値を上回ったが、当日の排ガス中のダイオキシン類の濃度の結果及び風向から、施設の影響ではないと考えられる。

* 2: 2日目に基準値を上回ったが、通常運転時と差がないことから別途原因調査及び対策がなされ、改善後は基準値未滿。

* 3: 固定床炉での加熱処理後のウエス等(ドラム缶入り)で基準値を上回ったが、それ以外は 基準値未滿。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2010年3月30日付 環境省報道発表資料

品質検査箇所 神村悠介

